

障害者支援計画(令和6～11年度)

～生活を楽しみ、自分らしく生きるために～

担当 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453

障害のある人の自立や社会参加を支援する計画です。「差別の解消」や「障害のある人への理解の促進」を目指した施策、自立した生活や意思決定を支援する施策、教育や就労支援に関する施策などを実施します。

<基本理念> 障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことができる共生のまちづくり

しあわせ長寿プラン(令和6～8年度)

～幸福長寿モデル都市を目指して～

担当 保健福祉局長寿社会対策課 ☎582・2407

保健・医療・福祉などの高齢者施策を総合的に進めるプランです。全国の高齢者数がピークに近づく2040年に向けての課題に対応するため、ビジョンを目指し、「健康長寿」「地域共生社会」「安心・安全・自己決定」の3つを目標として、施策を進めます。

<ビジョン> 高齢者が健康で生涯現役を目指し、自分らしく安心して、人生100年時代を幸福に暮らすことができるまち
<最終目標> 幸福感の高い高齢者の割合55%(令和8年度)

食育推進計画(令和6～10年度)

～食べかたは、生きかただ。～

担当 保健福祉局健康推進課 ☎582・2018

市民の食への関心と理解を深め、健康的な食生活によって生涯、健康で豊かに暮らすことができる社会の実現に向けて、野菜の摂取不足、食塩の過剰摂取、朝食の欠食などの課題に総合的に取り組みます。

<基本理念> 市民一人ひとりが、食育に関心を持ち健全な食生活を実践することによって、健康な心身と豊かな人間性を育み、生涯にわたって生き生きと暮らすことができる社会の実現を目指します

健康づくり推進プラン(令和6～11年度)

～健康に生きる、笑って活きる。～

担当 保健福祉局健康推進課 ☎582・2018

市民の健康寿命をより一層延ばすことを目指し、健康づくりに関する施策を進めるプランです。主な健康課題を①オーラルヘルス(お口の健康) ②高血圧 ③肥満とし、特に課題の見られた就労世代の健康づくりへの取り組みを進めます。

<基本理念> 全ての市民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のため、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人を取り巻く社会環境の整備やその質の向上を通じて、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を目指します



市政フラッシュ

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

移住おススメ動画を配信中!

「北九州市公式YouTubeチャンネル」では、北九州市特命(観光)大使のロバート馬場さんが全国に向けて北九州市への移住をお勧めする動画を配信中です。

出身地の門司区を中心に思い出の場所や味を巡るなどまちの魅力を全3話で発信しています。

視聴は
こちらから▶



問 都市戦略局住まい支援室 ☎582・2288

北九州空港大作戦

今年2月、北九州市は本市を「稼げるまち」にするための施策として「北九州空港大作戦」を発表しました。北九州空港の持つ能力を最大限に発揮することで、多くの「人」と「モノ」を呼び込み、北部九州圏の発展を支えていきます。

北九州空港の魅力(特徴)って?

- 九州・中国・四国で唯一、24時間いつでも離着陸が可能
- 航空機で運んできた貨物を船舶に移し替えて輸送することが可能
- 滑走路が3000mに延長され(令和9年8月予定)、大型貨物機の長距離輸送が可能に など

「北九州空港大作戦」ってどんな作戦?

空港の持つ魅力をより高めるため、「空港アクセスの強化」「空港の魅力向上」「路線の維持・拡充」の3つを組み合わせた柱とする大作戦です。第一弾として「空港アクセスの強化」に取り組んでいきます(取り組み例は下記のとおり)。

- エアポートバスの小倉線ノンストップ便を現在の1.5倍(25往復)に、朽網線を1.9倍(50往復)に増便
- 最寄駅(朽網駅)への特急電車の停車を推進
- 自動運転バスの実用化を検討 など



問 港湾空港局空港企画課 ☎582・2308